

いま最新の話題を熱く検証!

プロダクト&サービス

Hot Services

5

ここまで来た! スпам対策 スパム除去ツール

text : 平野正喜

ランドッグ・オーグ平野正喜事務所
http://www.rundog.org
主な著書:『ケータイビジネスを革新
する技術 BREW』インプレス)

スパム(迷惑メール)が私たちのネットワークを利用した生活や仕事に与える悪影響がどんどん大きくなってきている。コンピュータウイルスと比較するとスパムは単なるメールで、感染も発病も破壊行為も行わないことから軽く見られがちであるが、実は、本当に大事なメールがスパムの中に埋もれてしまったり、メールの受信に長く時間がかかったり、教育上ふさしくないメールが子供たちに送られたりと、ユーザーにとってはある意味でウイルスに匹敵するような負の存在なのである。今回は、このスパム対策として、個人が自分のPCで活用できるようなスパム除去ツールを中心に徹底比較を試みた。

スパム撃退用ツールが続々と登場



スパムは利益目的のプロの仕業

スパムの送信者はその大半がプロである。彼らはメールアドレスを自分たちが収集したり、メールアドレス販売業者から購入したりして「商売」をし、スパムの送信(またはその影響)によってなんらかの利益を得ていると考えてよい。それは、商品カタログの押し付けであったり、アダルトサイトや出会い系サイトへの誘導であったり、個人情報の収集であったり、ねずみ講への誘いであったりといろいろである。そしてそれらのどれもが利益を生み出す要素を持っている。

したがってスパムには、世界中のプロが開発した手練手管のテクニックが活かされ、新しいタイプのスパムが日々登場

している。このことが、スパム対策を難しくしている原因のひとつである。このような質の問題に加えて、量が多すぎるのもスパムの悪辣な特徴である。

8月上旬に、ある大手プロバイダーで大量のスパムの影響のため、メールサーバーの負荷が一時的に非常に高くなるという状況が発生した。このため、一時的にメールを受け付けにくい状況となり、メールの遅延が発生してしまうということがあった。

インターネットのメールシステム全体において、スパムはテロリスト的な存在だと言っても言い過ぎではない。



スパム除去をシステムのどこで行うか

スパムを除去するには、どの時点で行

うのが理想的なのだろうか。メールサーバーに届いた段階か? クライアントでの受信時か? メールソフトのフォルダーに入ってからか? そして、この除去は完全に自動化できるのだろうか?

実は、ここに大きな問題がある。あるメールが万人にとって迷惑なメールであり、受信者に届ける必要がないと明確に判断できるのであれば、どこで除去しよう構わないが、実際にはそう簡単ではない。極論を言えば、スパムは受信者が開封して「迷惑だ」と感じてはじめてスパムのレッテルが貼られるということなのだ。特に、プロが作成した、アダルトサイトや出会い系サイトへの誘導を目的とするスパムの中には、昔の知人からのメールと勘違いしてしまうほど巧妙なものがある。これを間違って返信してしまい、トラブルのもとになったりする。

【P113の表】 1: Norton AntiSpam 2004の機能は総合セキュリティツール「Norton Internet Security 2004」にも含まれている。
2: Outlook Express 4.0/5.x/6.0、Outlook 97/98/2000/2002、Netscape Messenger 4.x、Netscape Mail 6.x、Eudora Light 3.0、Pro 4.x/5.0、AL-mail 32 1.x、PostPet 2001/V3、Shuriken Pro2その他標準POP3またはSMTP互換のメールクライアントソフト。
3: 「隔離機能」として、オリジナルのメールを添付ファイルの形にし、その最初の20語を本文にしたメールとしてメーラーに渡す機能があるがスパムを完全に隔離するわけではない。
4: メールソフトの設定を変えてしまうようなメールスキャンプロキシを使用している他社製品がある場合には、POPFileの設定を

今月の製品一覧(スパム除去ツール)



製品名	Norton AntiSpam 2004 1	POPFile	インターネット ウィルス プロテクターV4
メーカー	シマンテック	POPFile Project	ライフポート
URL	http://www.symantec.co.jp/region/jp/products/nas/index.html	http://popfile.sourceforge.jp/index.php	http://www.lifeboat.jp/products/ivp/ivpd.html
価格	6,090円	無償/オープンソースソフトウェア	5,040円
対応OS	Windows XP Home、XP Pro、2000 Pro、ME、98	Windows 各種(Windowsバージョン) Perlが実行できる環境(クロスプラットフォームバージョン)	Windows XP、2000 Pro、98、Meなど(英語版も可)
必要なソフト	IE5.01(SP2)以上	Perl(クロスプラットフォームバージョンのみ)	
スパム除去関連機能	迷惑メール防止機能	全機能	迷惑メール遮断機能
スパム除去関連以外の機能	広告ブロック機能		ウィルス対策機能、スパイウェア対策機能、システムバックアップ機能
対応メールソフト	POP3各種 MAPI MSN/Hotmail	x x x	x x x
メールソフトとの統合	Outlook Outlook Express Eudira	(Outlookとの連携による) x x	x x x
複数メールアドレスサポート	x	x	x
複数ユーザサポート	x	x	x
動作レベルの設定	(高・中・低)	x	x
自動アップデート	プログラム(機能) フィルター(パターン)	(AntiSpamプログラムの更新) x	x(「更新自動チェック」は可能) x(ウィルス対策のエンジンのみ)
スパムのマーキング	件名に付加 拡張ヘッダーを追加	(AntiSpam定義の更新) ([Norton AntiSpam]を挿入=固定)	x(ウィルス対策のパターンのみ) x(自由に設定可能)
スパムをメールソフトに渡さずに隔離	x	(X-Text-Classification、X-POPFile-Link)	x
インストール時の他社関連製品のアンインストール	必要	x(3) 不要(4)	必要
アドレス帳をインポートして許可リストを自動作成	Outlook Outlook Express Netscape Communicator Eudora MSN/Hotmail	x x x x x	x x x x x
スパムを解析して、フィルターに反映する機能	x	x	x
スパムの各要素を手動で与えてフィルターに反映させる機能	送信者 送信サーバーのIPアドレス 受信者 本文 件名 メッセージヘッダー 文字セット 添付ファイル	x x x x x x x	(マグネット機能) x (マグネット機能) x (マグネット機能) x x x (出荷時に4ルールが設定済)
許可リストのカスタマイズ	手動 受信・送信メールを利用	x x	x x
統計機能	ログ記録機能 表示機能	x (スパム対策統計、ログビュー)	x x
苦情メール機能	x	x	x
設定のバックアップ&復元機能	x	x	x

製品名	ウイルスバスター2004 インターネット セキュリティ	ウイルスセキュリティ2005	マカフィー・スパムキラー 7
メーカー	トレンドマイクロ	ソースネクスト	マカフィー
URL	http://www.trendmicro.com/jp/products/desktop/vb/evaluate/overview.htm	http://sec.sourcenext.info/products/spam.html	http://www.mcafeesecurity.com/Japan/mcafee/home/spamkiller.asp
価格	8,925円(シングルユーザー)	1,980円	4,095円(プログラム自動更新サービスキャンペーン版)
対応OS	Windows 98、98 SE、Me、2000 Pro(SP3以上)、XP Home、XP Pro(SP1)	Windows XP、Me、98、98 SE、2000 Pro	Windows XP Home、XP Pro、2000 Pro、ME、98
必要なソフト	IE5.5(SP2)以上	IE5.01以上Outlook 2000以降、またはOutlook Express 5.01以降	IE5.5以上
スパム除去関連機能	迷惑メール対策	迷惑メール対策	全機能
スパム除去関連以外の機能	ウィルス対策、パーソナルファイアウォール、個人情報保護、スパイウェア対策	ウィルス対策、不正侵入対策、個人情報漏洩対策	
対応メールソフト	POP3各種 MAPI MSN/Hotmail	x x x	x x x
メールソフトとの統合	Outlook Outlook Express Eudira	x (5) (5)	x (98/2000/XP、迷惑メールトレイを追加) (6.0、同上)
複数メールアドレスサポート	x	x	x
複数ユーザサポート	x	x	x
動作レベルの設定	(高・中・低)	(0~100%で指定可)	(8) (最高・高・中・低・最低)
自動アップデート	プログラム(機能) フィルター(パターン)	x	x
スパムのマーキング	件名に付加 拡張ヘッダーを追加	([MEIWAKU]を挿入=固定)	([***Spam***]とトレイトを挿入=固定) ([spam]を挿入=変更可能)
スパムをメールソフトに渡さずに隔離	x	x	x
インストール時の他社関連製品のアンインストール	必要	必要(6) (メーカー側からも実行可能) (同上)	必要 (98以降)
アドレス帳をインポートして許可リストを自動作成	Outlook Outlook Express Netscape Communicator Eudora MSN/Hotmail	x x x x x	x x (9) (バージョン5以降)
スパムを解析して、フィルターに反映する機能	x	x	x
スパムの各要素を手動で与えてフィルターに反映させる機能	送信者 送信サーバーのIPアドレス 受信者 本文 件名 メッセージヘッダー 文字セット 添付ファイル	x x x x x x x	(メールアドレス、差出人、ドメイン名) x x x x x x x
許可リストのカスタマイズ	手動 受信・送信メールを利用	x x	x x
統計機能	ログ記録機能 表示機能	x (監視除外メールアドレスを設定)	x (許可リストブロック登録、ユーザーール設定) (迷惑メール診断機能)
苦情メール機能	x	x	x
設定のバックアップ&復元機能	x	x	x

工夫する必要がある。また、TOMCATのようにポート8080を利用しているプログラムがある場合は、POPFileのインストール時に、8080以外のポートを指定すること。
 5: 迷惑メールフィルターが追加される。内容は、迷惑メールとして登録、通常メール(迷惑メールとして識別されないメール)として登録、許可リストへの追加、ブロックリストへの追加(ツール設定、迷惑メール診断、ヘルプ)
 6: 加えて、以下のアプリケーションとの併用も不可。超速ADSL(Windows Me/98/98SEの場合) 引越おまかせパック、凄速シリーズ、シマンテックLiveupdate、AOLブラウザ、Windows Messenger、MSN MessengerのWebcam、音声チャット機能(それ以外の機能は併用可能) 勘定奉行21、PCA給与シリーズ、Oracle、フォームバッキング、AUTOCAD、日立GraceMail。
 7: マカフィー・スパムキラーの機能は総合セキュリティツール「マカフィー・インターネットセキュリティスイート」にも含まれている。
 8: Windows 2000またはXPを複数のユーザ環境で使用している場合は、OSでのユーザ設定に基づいて自動的に複数のユーザを設定する機能。
 9: Netscape Communicatorバージョン6、LDFファイルとしてエクスポートした場合はバージョン6以前のバージョンも可。



スパム除去ツールの仕組みは？



スパム対策は「削除」「隔離」「マーキング」

メールの「玉石混交状態」において、スパム除去ツールによるスパム対策は次の3つのパターンに分けられる。

- (1)サーバーまたはクライアント側で削除(または転送を拒否)
- (2)サーバーまたはクライアントのどこかに隔離
- (3)メールの一部の書き換え(マーキング)をもとにしたメールソフトの機能による振り分け

(1)は、そのメールが明らかにスパムであると判断できる場合のみに可能であり、そうでなければ削除できない。

(2)と(3)は、誤診断されたメールの救助が可能な代わりに、手動での削除が必要となる。

(2)では一定期間を経過したメールを自動的に削除させることが可能だが、その前にチェックしておかないと大切なメールが誤診断されて消えてしまう危険性がある。

(3)では、受信するメールの数は変わらないことに加えて、メールソフトの機能で振り分けてもらった後で振り分け結果を確認する必要があるため、数が多くなると厄介である。

どれも一長一短があり、各種のメールサーバー、各種のクライアントOSやメールソフトが活用されている状況では、(1)(2)(3)のすべてを1つのツールで同時にまかなうのは事実上不可能に近いし、あまり意味がない。

したがって、利用者は、スパム除去ツールに「何を」「どこまで」してほしいかを考え、導入すべきツールや機能を決めるべきである。



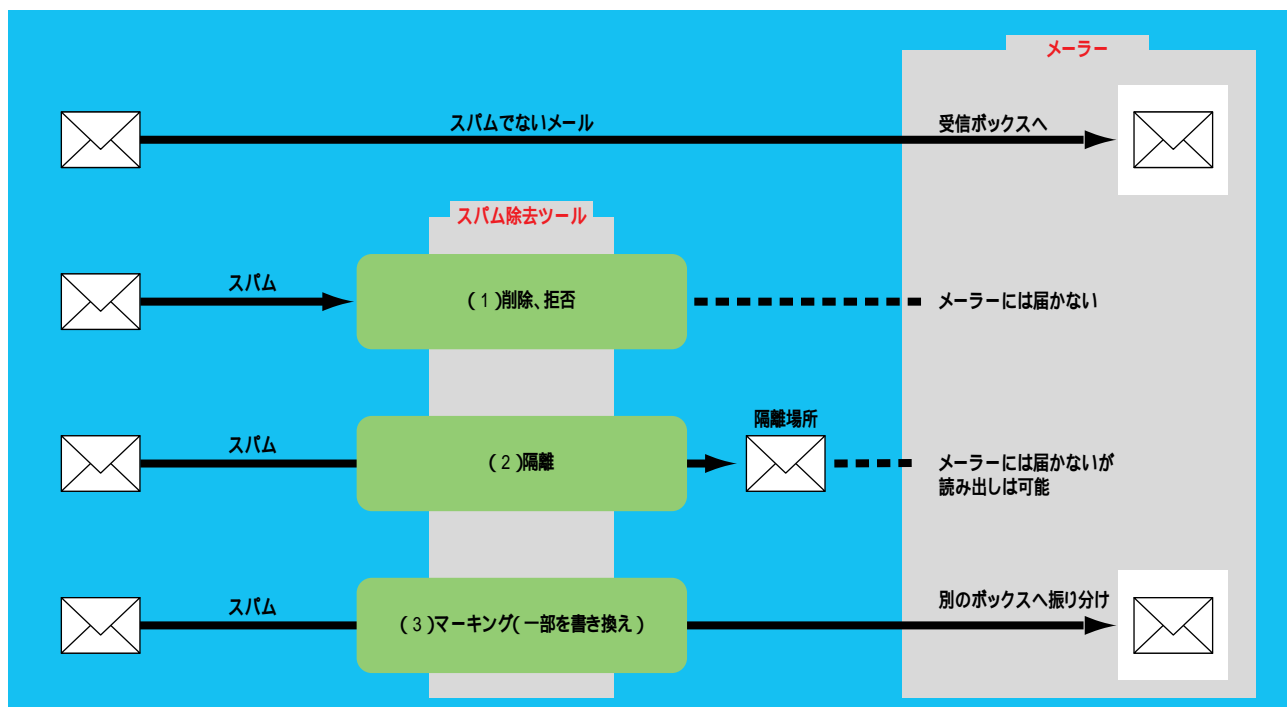
専用ツールと総合セキュリティツールの除去機能

今回は個人またはSOHOユーザーを対象として想定し、ツールは、サーバーのインストールが不要のクライアント型にした。同時に、一定以上の日本語化が完了した市販ソフトを選択した。唯一の例外であるオープンソースの「POPFile」については、非常に高いレベルの機能を持っていることから、対象に加えた(本誌2004年3月号でも紹介)。

各製品については、スパムの除去を主目的とする専用ツール(この製品が含まれた総合バックもある)と、総合的なセキュリティツールでスパム除去の機能を併せ持っているツールを選択した。後者は、スパム除去機能以外で特筆すべきファクターに溢れているのだが、今回は、スパム対策以外の機能は評価の対象にしていない。

それぞれのツールについて、「インストール」「フィルタリング(スパムの選別)」「スパムの処理とその管理機能」の3つについて評価してみた。

スパム除去ツールの仕組みのいろいろ



Rating ポイント

1

インストール

POPFile はほぼ無条件にインストールできるが、それ以外の5種については、インストール前にならずそのときの環境と条件を確認しなければならない。

まず、ウイルスバスター2004 インターネット セキュリティ、ウイルスセキュリティ2005、インターネット ウィルス プロテクターV4は、ほかの総合セキュリティーツールがインストールされているPCには当然インストールできない。たとえフリーソフトであっても、セキュリティー機能を持つソフトは内容を確認して、もしも安全が確認できなければアンインストールしたほうがよい。

スパム除去専用ツールについても同様である。たとえば、Norton AntiSpam 2004の場合「他社の同等の機能を持ったソフトはアンインストールしてから」とあり、マカフィー・スパムキラーの場合も「同一のパソコンに異なるメーカーのセキュリティー製品または旧バージョンがインストールされている場合に製品の競合が起こり、OSが不安定になる可能性がある」とのことで、どちらも具体的な対象は記載されていないが、セキュリティーというOSの若干デリケートな部分に

かわるソフトだけに、安全策を採りたい。

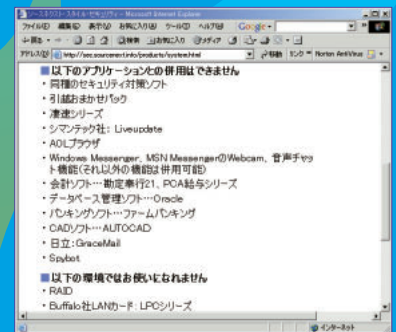
ここで最もインストールの条件が明確で、利用者を悩ませ

ないのが、ウイルスセキュリティ2005である。メールソフトとして、Outlook 2000以降または Outlook Express 5.01以降が必須であり、「以下のアプリケーションとの併用はできません」という情報の詳細も下図のように公開されている。また、パッファロー社LANカードのLPCシリーズも併用不可と明示されているので、インストール時のトラブル防止にはありがたい。

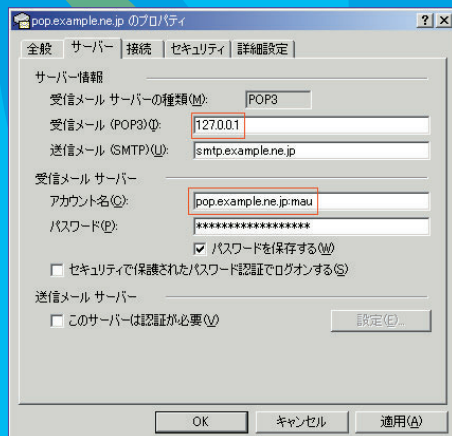
POPFile 以外の5種については、わかりやすいインストーラーが付属している。最近の市販ソフトのインストーラーはどれもできが良く、ほとんどの場合、インストールだけで標準的な機能が実行可能となり、後は微調整すればOKということが多い。しかし、ウイルスバスター2004 インターネット セキュリティの迷惑メール対策機能は例外で、インストール段階では「動作しない」となっているので注意が必要である。

POPFile はアーカイブを展開して

setup.exeを実行すればインストールできるが、インストール後にメールソフトと連携させるための設定変更が必要である。具体的には、(1)受信POPサーバーを「127.0.0.1」に、(2)ユーザーアカウント名を「受信POPサーバー名」+「:」+「ユーザーアカウント名」に、それぞれ変更する必要がある。また、APOPを利用している場合は、APOP対応を追加した POPFile 0.21.1 用の日本語化パッチ 0.21.1.1を適用する必要がある。設定の仕方やパッチの入手方法など、インターネット上のドキュメントは日本語化が進んでいるが、初心者にはわかりづらい部分も多い。

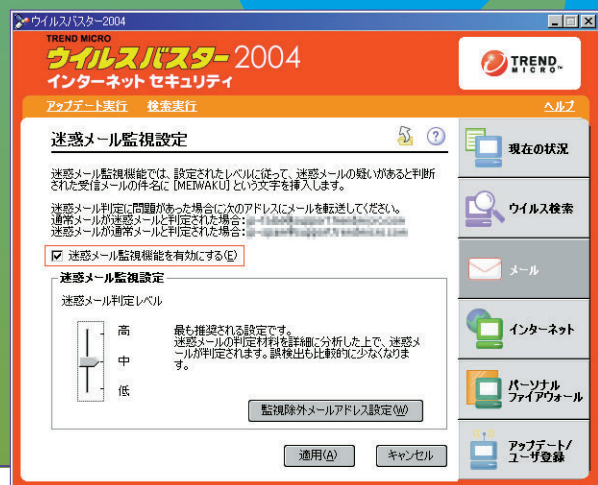


ウイルスセキュリティ2005のインストール条件。同種のセキュリティー対策ソフトのみではなく他のソフトなどの具体名がきちんと挙げられている。



POPFile利用時のメールアドレスの設定例(Outlook Express 6)

ウイルスバスター2004 インターネット セキュリティではインストール後に設定画面を呼び出して、チェックをオンにしなければならない。



Rating ポイント 2 フィルタリング

スパムをフィルタリングするためには、まず、スパムではないことが明らかなメールの情報があるとよい。このための重要な情報が得られるのが、すでにそのマシンにインストールされている「アドレス帳」である。Norton AntiSpam 2004、マカフィー・スパムキラー、ウイルスセキュリティ2005は、インストール時にハードディスクをスキャンし、OutlookやOutlook Expressなどのアドレス帳が見つければ、これらのアドレス帳をインポートして「許可リスト」を自動作成してくれる。特に、マカフィー・スパムキラーは5種類のアドレス帳に対応している。また、ウイルスセキュリティ2005は、インストールによりOutlook、Outlook Expressに「許可リストへの追加」ボタンが設置されるので、アドレス帳に含まれていないメールの情報も簡単に追加できる。

次に、許可リストとは逆にフィルタリングしてほしいメールの情報をフィルターに与える作業は、スパムがフィルタリングされにくい工夫がされているため、かなり厄介であるが、最低限度のフィルタリングができるに越したことはない。

ウイルスバスター2004 インターネットセキュリティを除く5製品は、それぞれのやり方で、スパムの各要素を手動で与えてフィルターに反映させる機能を持っている。特に、マカフィー・スパムキラーは徹底しており、送信者のアドレス、送信サーバーのIPアドレス、受信者のアドレス、本文、件名、メッセージヘッダー、添付ファイルの有無に加えて、文字セットまでもフィルター条件に設定できる。たとえば、日本語と英語以外のメールをすべてフィルタリングできるので、このようなニーズを必要とする人には便利である。

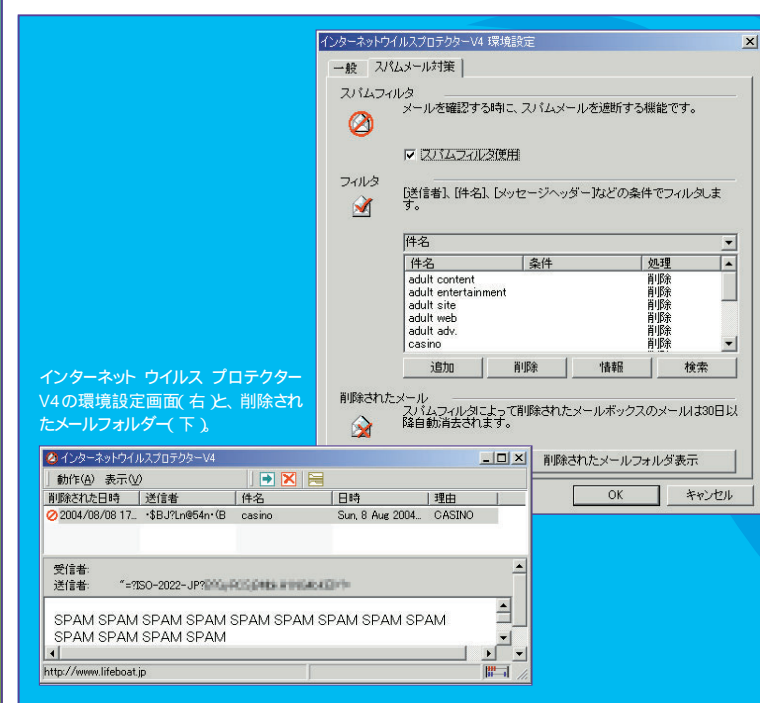
さて、このフィルタリング機能に加え

てスパムを解析してフィルターに反映させる仕組みを持つのが、POPFileである。利用者にスパムだと指定されたメールを分析して学習する機能を持ち、経験を繰り返すことでさらに正確にメールを処理できるようになる。

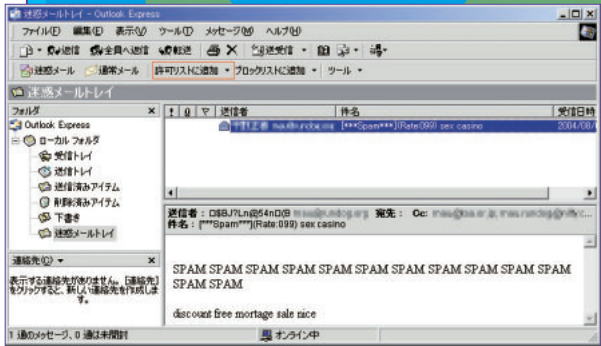
反対に、スパムやその各要素を手動でフィルターに反映させる機能を一切持たないのは、ウイルスバスター2004 インターネットセキュリティである。迷惑メールに対して利用者は、「機能をオンにすること」「監視除外メールアドレス(許可リスト)を設定すること」「動作レベルの設定(高・中・低)」だけできる。そして、もしもスパムの判定に問題があると感じた場合には、そのメールをトレンドマイクロの担当者に転送できるようになっている(115ページの画像参照)。



マカフィー・スパムキラーの文字セットブロック。メールの文字セットによりスパムの排除が可能。



インターネット ウィルス プロテクター V4の環境設定画面(右)と、削除されたメールフォルダ(下)。



ウイルスセキュリティ2005がOutlook Expressに設置した迷惑メールトレイ。赤い囲みは「許可リストに追加」ボタンを含む機能バー。

Rating ポイント 3

スパム処理と管理

スパムだと判断されたメールに対しては、いくつかの対処法がある。特徴的なのはインターネット ウィルス プロテクターV4で、一部を書き替えるマーキング機能がない代わりに、スパムをメールソフトに渡さずに隔離してしまう。隔離されたメールは専用メニューから確認できるが、30日以降は自動消去されるので、間違っても大事なメールが削除されてしまわないように注意が必要だ。フィルターの設定に自信があり、スパムなど見たくもないという人には向いている。

残り5種製品のすべては、マーキング機能を持っている。最も単純なのは、ウィルスバスター2004 インターネットセキュリティで、件名に[MEIWAKU]を挿入する。これは固定で変更できない。

自由度が高いのはマカフィー・スパムキラーと、POPFileである。マカフィー・スパムキラーの場合、処理オプションにおいて、ブロックされた電子メールボックスにスパムを移動して隔離するか、マーキングして受信ボックスに送るかを選ぶことができる。前者の場合、保存期間を設定でき(初期値は15日)、後者の場合、件名に追加する文字列を設定できる。POPFileは隔離はできないが、振分先名(パケット名)を件名に追

加するので、事実上自由に文字列を設定できる。しかも、各メールの管理情報を保持する拡張ヘッダーという領域に、振り分け情報を追加で

けるので、Becky!のように、これをメールの振り分けに利用できるメールソフトと連携すると、件名を変更せずに振り分けが可能となる。

スパム除去専用ツールにはスパム除去の統計を行う機能が充実している。この機能は、それぞれフィルターの成長具合やスパム対策の更新状況などが確認できる。

最も充実しているのは、POPFileのコントロールセンター機能である。このサービスは、ウェブブラウザから閲覧が可能で、分類精度、分類されたメール数と割合、分類に用いられた単語数と割合、現在のログファイルなどを見ることができる。特に分類精度(100 - 分類エラーの数 ÷ 分類されたメール数)の数値はインパクトが大きく、この数字が大きくなるのを見ているとなかなか楽しい。

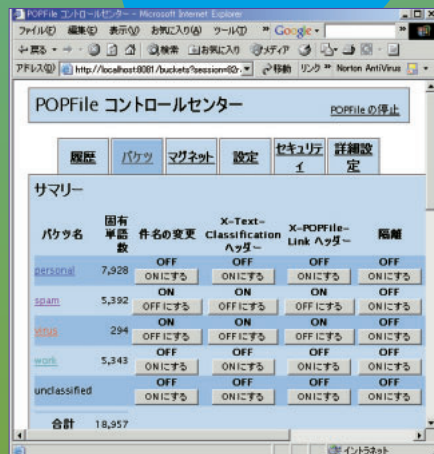
Norton AntiSpam 2004ではスパム対策統計とログビューア機能で、スパムフィルターの動作統計やスパム識別子によって検出された電子メールの口

グを見ることができる。

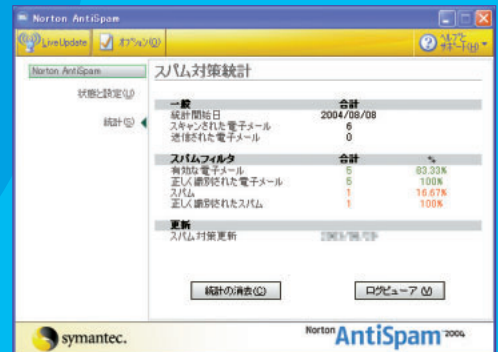
また、マカフィー・スパムキラーでは、現在までに検出されたスパムの数と出現率に加えて、過去30日で受信したスパムの傾向を円グラフで表示してくれる。なお、ログ機能は初期値ではオフなので、問題解決などに必要であればオンにするとよい。

マカフィー・スパムキラーの持つ個性的な機能の1つに、バックアップと復元の機能がある。手間ひまをかけて設定したフィルターや集まった情報が消えてしまわないように、OSのバージョンアップやサービスパックの導入の前にはバックアップしておくとうい。また、苦情やエラーメッセージを送信して、今後同じ送信者からスパムが送信されないようにする機能もある。なお、筆者の個人的な意見だが、スパムの送信者への苦情はあまり意味を持たず、場合によっては個人情報の流出や無駄なメールの転送が増えることになりかねないので、おすすめしない。

POPFileコントロールセンター。既定のパケットを削除して「virus」パケットを追加(右)、センターに表示された分類精度(下)

パケット名	固有単語数	件名の変更	X-Text- Classification ヘッダー	X-POPFile- Link ヘッダー	隔離
personal	7,928	OFF	OFF	OFF	OFF
spam	5,392	ONにする	ONにする	ONにする	ONにする
virus	294	OFFにする	OFFにする	OFFにする	ONにする
work	5,343	ONにする	ONにする	ONにする	ONにする
undclassified		OFF	OFF	OFF	OFF
合計	18,957				



スパム対策統計		
統計開始日	2004/08/08	
スキャンされた電子メール	0	
送信された電子メール	0	
スパムフィルタ	合計	%
有効な電子メール	5	93.33%
正しく識別された電子メール	5	100%
スパム	1	10.87%
正しく識別されたスパム	1	100%

更新
スパム対策更新

統計の消去(C) ログビューア(O)

Norton AntiSpamのスパム対策統計画面。

デスクトップ対策と併用すればスパム撲滅も可能？ ISPのスパム除去サービスとその他のツール

毎日スパムが大量に送られてくると、そのすべてをデスクトップで処理するのは効率が悪く時間がかかりすぎる。そこで、より上流でフィルタリングできる、ISPによる除去サービスについて紹介しよう(表参照)。

「迷惑メールフォルダー」はスパムを自動的に専用のフォルダーに振り分けるサービスで、@niftyのメールをメールソフトだけで送受信している人も、ウェブメールで読んでいる人も利用できる。@niftyが設定した基準で自動的に判別するので、自分で条件を指定する必要はない。このサービスは、POPFileと同様に、スパムの特徴を自動的に学習して成長していく「学習型フィルタ」を搭載している(本誌2004年3月号で紹介)。@niftyのメール

利用者は無料になっているので試してみよう。

またハートコンピュータは、「UNIXハッカーのためのレンタルサーバーサービス」などを行っているISPであるが、数年前から、スパムメールと不正なメールの中継についての情報や解説を公開し、幼稚園から高校のスパムに困っている学校法人などを無料でサポートしている(条件あり)。同社の「spamフィルタ付メールサービス」は、メールサーバーでスパムを排除して希望するアドレスに転送するサービスである。ホームページなどに掲載するメールアドレスをこのサービスのアドレスにすることで、スパムを効率的に排除できる。このサービスの排除・選別方法は、同社に蓄積した拒絶リスト、第三者中継を許す

サーバーの一覧をデータベース化した各種 RBL(Real Time Block List) [URL](http://www.rbl.jp/)、SpamAssassinなどのメールフィルタによって実現されており、フィルタリングのレベルが異なる複数のサービスを提供している。

さらに、その他のスパム除去ツールとして、フリーソフトやシェアウェアのものも発売されたり公開されたりしているので、表にまとめた。これらは目的によっては、使い分けや複数のツールの組み合わせが有効な場合もある。ただし、他のツールに比べて、前提条件が厳しかったり、他のソフトとの相性が悪かったりするものがあるので注意して活用してほしい。

[URL](http://www.rbl.jp/) <http://www.rbl.jp/>
(Realtime Blackhole List Japan)

ISPによるスパム除去サービス

ISP	サービス名称	URL	価格	概略
@nifty	迷惑メールフォルダー	http://www.nifty.com/mail/spam_folder/	追加料金なし	スパムメールを自動的に専用のフォルダーに振り分ける機能。メールソフトだけで送受信している人も利用可能。
AOL	迷惑メール対策	http://www.jp.aol.com/charm/service_sec_03.html	追加料金なし	自動的にスパムを認識し、メールアドレスをオレンジ色にして迷惑メールフォルダーに振り分ける。
BIGLOBE	迷惑メール拒否サービス	http://email.biglobe.ne.jp/spam/	追加料金なし	最大2000件まで設定可。未承諾広告はボタン1つで設定完了。拒否したいヘッダを自由に設定可。
Twin Internet	迷惑メール拒否サービス	http://home.twin.ne.jp/mail_reject.html	追加料金なし	"特定のメールの受信を拒否可能。表題に"未承諾広告"と入っているメールの受信を拒否可能。"
Yahoo!BB	BBセキュリティ powered by Symantec	http://bb.softbankbb.co.jp/bbsecurity/	490円(月額)~ 2004年9月末まで無料	受信する電子メールを複数のレベルでフィルタにかけ、迷惑メールを即座に検出して自動的に排除。
Yahoo!メール	迷惑メール対策	http://antispam.yahoo.co.jp/	無料	SpamGuardにより、スパムの疑いのあるメールを自動的に検知し、受信箱ではなく迷惑メールフォルダーへ振り分け。
Webしずおか シナプスインターネットサービス	迷惑メール対策 迷惑メール着信拒否サービス	http://www.wbs.ne.jp/member/spam/index.htm (会員専用) http://www.synapse.jp/tool/mail_no/	追加料金なし 追加料金なし	担当者に要問い合わせ。 メールの件名の一部が一致した場合や、特定のメールアドレス、ドメインからのメールを着信しないようにする機能。
トリネット ハートコンピュータ	SPAMフィルタ spamフィルタ付メールサービス	http://www.toriton.net/shared/index.htm http://www.hart.co.jp/spamfree/	非公開 1年目3,570円(年間)~	"WEBコントロールパネル"の機能の1つとして提供。 メールサーバーでスパムを排除し、希望するアドレスに転送してくれるサービス。
ヒュー・メイズ	EDS(Email Defense Service)	http://www.humeia.co.jp/hosting/eds/	525円(初期費用) 210円(月額費用)~	MX LOGIC社の Stacked Classification Framework(SM)を使用して、最先端のフィルタリング機能を提供。

スパム除去サービスではないので割愛したが、単なるメールフィルタリングは多くのプロバイダで実施している。JAIPA(社団法人日本インターネットプロバイダ協会)の「各プロバイダの迷惑メール対応一覧」を参照。[URL](http://www.jaipa.or.jp/UCF/providerlist.html) <http://www.jaipa.or.jp/UCF/providerlist.html>

その他のスパム除去ツール

メーカー	製品名	URL	価格	概略
A-tak 氏	NEMCHI	http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/mail/antispam/nemchi.html	フリーソフト	フィルタ機能を用いて重要なメールだけを知ることができるタスクトレイ常驻型メールチェッカー
BkASPII製作チーム	BkASPII Plug-in for Becky!2	http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/mail/antispam/bkaspii.html	フリーソフト (一部機能の利用は要ユーザー登録)	受信したスパムを自動的にごみ箱フォルダーへ移動する「Becky! Internet Mail.v2.06以降専用プラグイン
Qurb, Inc.	Qurb 2.0	http://www.qurb.com/ja/	US\$29.95ドル	Outlook、Outlook Expressとシームレスに統合する安全で簡単なスパムフィルタ
StarStoneSoftware Development Inc.	迷惑メール対策ソフト "SpamDump"	http://www.starstonesoft.com/ad_spamdmp.htm	シェアウェア 1,000円	多彩な条件を組み合わせて、効果的にスパムを削除できるプロキシー型スパム削除ソフト
The Mozilla Organization	Thunderbird 0.7	http://ft.mozilla.gr.jp/products/thunderbird/	オープンソース	優れたスパムフィルタ、組み込みのスペルチェッカー等の機能を装備した次世代メールクライアント
YNOGUCHI's Software	Bayesian Junk Mail Filter Plugin for Becky!	http://www.vector.co.jp/soft/win95/net/se315333.html	フリーソフト	Becky!にベイジアンスパムフィルタ機能を追加するプラグイン
島守 睦美 氏	英文メール駆逐艦 雷風	http://www.vector.co.jp/soft/win95/net/se318397.html	フリーソフト	簡単設定、マルチアカウント対応の英文スパム自動削除ツール
たくしげ 氏	AntiSpam for AL-Mail32	http://www.vector.co.jp/soft/win95/net/se174770.html	フリーソフト	スパムや迷惑メールなど、受信したくないメールをAL-Mailのメールボックスとサーバーから自動で削除
土肥 英明 (eimei) 氏	Spam Mail Killer Version 2.14	http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/mail/antispam/spamkiller.html	フリーソフト	スパムの削除に重点を置いたメールチェッカー。削除条件に該当したメールをサーバー上から自動削除

ウイルス対策とセットで選択しよう

前述したとおり、ほぼ無条件にインストールできるのはPOPFileだけである。したがって、POPFile以外を選択するのであれば、現在利用中のウイルス対策ツールに合わせるか、まとめて取り替えるかしかない。

い。スパム対策をしようというPCにウイルス対策ツールがインストールされていないという状況は考えづらいので、総合セキュリティツールについてはまとめて1本、スパム除去専用ツールについては同じべ

ンダーのウイルス対策ツールとセットで起用することになるだろう。

まず、セキュリティ対策全体を考えてから目的に合ったスパム除去ツールを導入するのが重要で、その効果は大きいだろう。スパムの送信者たちがこれらの愚かな手段をあきらめるような社会になるまでは、自分に合った方法での自己防衛をおすすめする。

Norton AntiSpam 2004 ¹ http://www.symantec.co.jp/ シマンテック	POPFile http://popfile.sourceforge.net/ POPFile Project	インターネットウイルスプロテクターV4 http://www.lifeboat.jp/ ライフボート
導入の容易さ	導入の容易さ	導入の容易さ
機能と能力	機能と能力	機能と能力
おすすめ度	おすすめ度	おすすめ度
価格:	価格:	価格:
導入の容易さ:	導入の容易さ:	導入の容易さ:
機能と能力:	機能と能力:	機能と能力:
こんなユーザーにおすすめ	こんなユーザーにおすすめ	こんなユーザーにおすすめ
武器・兵器にたとえると	武器・兵器にたとえると	武器・兵器にたとえると
導入の容易さ	導入の容易さ	導入の容易さ
機能と能力	機能と能力	機能と能力
おすすめ度	おすすめ度	おすすめ度
価格:	価格:	価格:
導入の容易さ:	導入の容易さ:	導入の容易さ:
機能と能力:	機能と能力:	機能と能力:
こんなユーザーにおすすめ	こんなユーザーにおすすめ	こんなユーザーにおすすめ
武器・兵器にたとえると	武器・兵器にたとえると	武器・兵器にたとえると
導入の容易さ	導入の容易さ	導入の容易さ
機能と能力	機能と能力	機能と能力
おすすめ度	おすすめ度	おすすめ度
価格:	価格:	価格:
導入の容易さ:	導入の容易さ:	導入の容易さ:
機能と能力:	機能と能力:	機能と能力:
こんなユーザーにおすすめ	こんなユーザーにおすすめ	こんなユーザーにおすすめ
武器・兵器にたとえると	武器・兵器にたとえると	武器・兵器にたとえると

1: Norton AntiSpam 2004の機能は総合セキュリティツール「Norton Internet Security 2004」にも含まれている。
2: マカフィー・スパムキラーの機能は総合セキュリティツール「マカフィー・インターネットセキュリティスイート」にも含まれている。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp